

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月10日	記入者	石原清行	連絡先	780-1410	
平成18年度部名	教育総務部	課名	津久井教育課	課長名	八木正夫	
平成19年度部名	教育環境部	課名	津久井教育課	課長名	八木正夫	
事務事業名	スポーツ広場等維持管理事業					
予算上の事務事業名	スポーツ広場等維持管理費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15210		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります					
基本施策名	第2節 生涯スポーツ・レクリエーションの振興					
施策名	第1施策 スポーツ・レクリエーション活動の促進					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
スポーツ振興法、相模原市立グラウンド等体育施設に関する条例、相模原市立グラウンド等体育施設に関する条例施行規則						
3 個別計画の概要			概要			
計画名	スポーツ振興計画 ～地域スポーツ活性化プラン～			市民自らがスポーツへ取り組むことを基本として、地域におけるスポーツ環境の整備、青少年期のスポーツ環境の充実などを基本目標に各種施策を推進する。		
計画年次	16	年度～	25	年度		
4 事業形態の区分			施設運営	5 事業開始年度		
6 事業概要						
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)		
市民の余暇活動、健康増進のための生涯スポーツの場の確保により、いつでも、気軽にスポーツを楽しめる「生涯スポーツ社会の実現」を図る。				市民(利用者)		
(3) 平成18年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動) なのか。						
グラウンド利用者数	63,960人					
共済費	22,425円					
賃金	3,299,200円					
需用費	3,584,568円					
役務費	383,988円					
委託料	924,393円					
使用料及び賃借料	2,698,862円					
備品購入費	76,965円					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 [単位：千円]						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	10,991	17,155	17,155	
一般財源	0	0	10,592	16,759	16,759	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	399	396	396	
人件費の合計	0	0	5,635	5,635	5,635	
事業コスト合計	0	0	16,626	22,790	22,790	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	スポーツ広場等維持管理費			対象名称 と単位	管理運営費及び利用者数	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	10,991	17,155	17,155	
対 象 数	0	0	63,960	64,000	64,000	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	172	268	268	
前 年 度 比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.56	1.00	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	施設開場日数（日）	指標式と指標の説明	予定開場日数÷開場日数×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	359.0		
目標	0.0	0.0	359.0	360.0	359.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	利用者数（人）	指標式と指標の説明	利用者数（人）平成18年度実績		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	63,960.0		
目標	0.0	0.0	63,960.0	64,000.0	64,000.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果享受している。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★★	[★★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		多目的グラウンドやジョギングコース等を備えた串川、鳥屋及び青野原グラウンドは、毎年63千人以上の市民に利用されている。生涯スポーツの場として、今後も継続して市民の利用に供していく。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
施設のPRを行い利用者の増加を促す。			施設の全体的な老朽化		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			